

早大ドラ研さんとの交流会

法学部 4 回生 長谷 悠太

合宿の締めくくりは早稲田大学ドラえもん研究会（以下、早大ドラ研）さんとの交流会だ。F 同として初めて F ミュを訪れた一昨年の夏以来、早大ドラ研さんのご厚意に甘えて毎年開催の運びとなっている。今年もお声かけをいただいて開かれることとなった。

東京・大手町の某ビル地下の居酒屋で会食。居酒屋と言ってもいわゆる飲み会ではなかった。普段大学生がコンパで利用するような喧騒とは無縁の、とても落ち着いた雰囲気のお店で、新鮮な魚料理など豪華な和食に舌鼓を打った。お酒をあまり飲まない筆者としては、お腹いっぱいになることができて満足だった。

東京タワーで少し長居をしてしまい集合時間に遅れ 19 時すぎに早大ドラ研さんと合流。私は昨年に続いて 2 回目の参加で、昨年の交流会などで既にお知り合いとなっている懐かしい顔も見受けられて嬉しくなる。総勢 15 人ほどの同年代の藤子ファンが集うこととなり、終始とても賑わった。

交流会では乾杯の後に自己紹介。早大ドラ研さんが新歓などでされている、「①名前②所属③好きな（あるいは欲しい）ひみつ道具④好きな大長編（もしくは映画、短編作品）」を順に披露する。これでドラえもんトークや藤子トークの糸口が掴めるのだから愉快だ。

テーブルごとに盛り上がりは様々。お互いのサークル活動や藤子トークはもちろん、学業のことやゲームのことなどなど。2 年連続で早大ドラ研の会員さんが口にされたので忘れられないことは F 同の合宿がハードであるということ（笑）まず往復夜行バスなんて考えられないらしい。私もせめて片道だけでも楽に行きたい派なのでおっしやることにはただ同意するばかり（笑）その他個人的に印象に残る話題は二つ。一つは部室。いつでも気軽に集まって藤子トークや漫画に触れられる場は欲しい。早大ドラ研さんは他サークルさんとの共有らしく、気軽にいつでも集える場所の確保は悲願だ。もう一つは OB 組織の存在。早大ドラ研さんには稲門会ドラ研という OB 組織が存在する。F 同も今後卒業生が増えていく。卒業後も卒業生同士が、あるいは現役と交流することのできる、そんな場があればいいと思っている（それ以前に後輩がもっと増えてほしいところだが）。F 同の先輩サークルとして、見習って取り入れたいところは多い（老害）。

そうしてあっという間に時間が過ぎ去った。夜行バスの発車場所まで案内してもらおう。移動中に、早大ドラ研幹事長をはじめ、飲み会の席で話せなかった方々と歓談。道中、つい先日まで「藤子・F・不二雄 生誕 80 周年記念イベント at KITTE」が行われていた KITTE を少し悔しい気持ちを抱きながら通過したものだ。到着した後も、出発時間までは 30 分以上残っていたということもあって、きれいな月光の下で名残惜しく歓談は続く。サークル共々、そして同年代の藤子ファンとして、交流が今後も続くといいなと思う。22 時半、別れの挨拶を終え、私たち一行は京都へ戻るバスへ乗り込んだ。翌朝の京都駅にて 2 回目となった夏合宿も無事に終了。来年はどんな旅になるのだろうか。